

令和7年2月18日（火）に第3回学校運営協議会を実施しました。当日は、8名の委員の方の出席（欠席2名）の中、本校の学校評価結果に対して御意見をいただきました。

1 保護者評価にある「E（よく分からない）」について

「保護者評価の中で、Eのよく分からないに評価をしている項目があるが、これについての理由や原因などが分かれば教えてほしい。」「昨今は重複障がいのある子どもも増え、家庭環境も様々になっている。そうした世の中の動きに合わせたアンケートを探っていくと良い。」という御意見等をいただきました。

→ 学校としては実施していると思われる項目でも「E」となるケースがありました。例えば「不審者を防ぐ対策が整っている」に2名「E」が付いていました。今年度校門から職員玄関までの動線を示す白線や矢印をアスファルトに示したり、夜間から朝までは不審車両や不審者が入ることができないようにチェーンを設置したりしました。このような取組を行っていても、その理由や目的を理解されていなければ意味がないので、やはり情報発信の足りなさを感じております。今後は情報発信の面にも力を入れていきたいです。

→ 障がいの多様化、家庭環境の変化もありますが、本校は幼稚部から中学部までの幼児児童生徒が在籍しており、発達段階も幅広くなっています。そんな中、アンケート項目を見たときに、どうしても「分からない」といった項目が出てきてしまうのかもしれませんが。保護者が答えやすいアンケートを目指して参ります。

2 重複障がいのある子どもへの実践について

「障がいが多様化していたり、家庭環境も様々である。そんな中、先生方が行っている教育実践に対して、AやBといった評価が多くなっているのは、良い意味で先生方の努力であったり、苦勞であったりが見受けられる。」「重複障がいのある子どもに対しての指導については、様々な関係機関と連携・協力して、配慮している状況があるのではないか。」という御意見をいただきました。

→ 聴覚障がい教育の専門性のみならず、教科指導の専門性や重複障がい教育の専門性が求められています。今後も研究・研修に励み、より多くの専門性の向上を目指していきます。また、様々な専門性の向上のためにも、それだけの様々な関係機関との連携・協力が必要になってくると思います。今後はそういった関係機関との連携についても強めていきたいと思います。

3 アンケートの回答の仕方について

「アンケートは、今後より良くしていくために行われるものである。そういう観点から考え、CやDを付けた方には、今後AやBにするためにはどうしたら良いかという回答方法にしていくと良い。そうすると改善策のアイデアがもらえるのではないか。」という御意見をいただきました。

→ とても良い方法だと思います。今年度はCやDに付けた方には、その理由も記載していただくという方法で、Googleフォームより回答をしていただきましたが、御意見いただいたように「今後AやBにするためにはどういう改善案があるのか」ということを記載していただけるような方法に変更することを検討していきたいと思います。

4 教職員の働き方改革について

「今年で聾学校教育相談に通い始めてから13年が経った。昔から様々な発達段階の子どもたちに、先生方がすごく一生懸命に熱心な指導をしてくださっていた。一人一人に合った教育をしてくれた。親がしてあげられないことも、先生方にはたくさんやってもらったので、ものすごく感謝している。聴覚障がい教育の専門性に特化した素晴らしい先生もたくさんいて、どうかこのまま継続して子どもたちの指導をしてほしい。ただ一つ心配なのが、先生方の働き方改革も進めてほしいと思う。夜7時以降でも学校の前を通ると、電気が付いていることがよくある。先生方の労働時間が心配なところがあるので、そこを少しでも減らせるように一言お伝えしておく。」という御意見をいただきました。

→ ありがとうございます。今後も継続して聴覚障がい教育の専門性を高め、一人一人の子どもたちと向きありながら教育実践を積み重ねていきたいと思っています。

→ 教職員の働き方改革については、校内でも進めております。時間外在校等時間を45時間以内にするように道教委からの目標が示されています。これまで毎月複数人が45時間を越えてしまう状況がありましたが、昨年12月、今年の1月と45時間を越える教職員が「0人」になっております。引き続き働き方改革を進めていき、時間外在校等時間を減らしていくとともに、教職員の健康管理に努めていきたいと思っています。